

# 衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 26.11.6 第 187 回国会第 2 号

11 月 6 日（木）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 原子力問題に関する件

- ・原子力規制委員会の活動状況について、田中原子力規制委員会委員長から説明を聴取しました。
- ・山際経済産業副大臣、福山内閣府大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力株式会社常務執行役

姉川尚史君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 鈴木淳司君（自民）

- ・本年 10 月に原子力規制委員会において、「東京電力福島第一原子力発電所事故の分析中間報告書（案）」が取りまとめられたが、取りまとめに至った経緯と同報告書案の今後の取扱いについて伺いたい。
- ・東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）事故への対応に際して、開かれた形で、各国の原子力規制当局の関係者と課題を共有しながら我が国の新しい規制文化を構築していく必要があると考えるが、田中原子力規制委員会委員長（以下「田中委員長」という。）の見解を伺いたい。

### 樋口尚也君（公明）

- ・エネルギー基本計画によれば、エネルギーミックスについて「各エネルギー源の位置付けを踏まえ、原子力発電所の再稼働、固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギーの導入や国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）などの地球温暖化問題に関する国際的な議論の状況等を見極めて、速やかに示すこととする」とされているが、未だ具体的な数値を策定できない理由を政府に伺いたい。
- ・原子力発電所（以下「原発」という。）の敷地内破砕帯に関して実質的な判断を行っている有識者会合について、法律の規定に基づいて設置されているものではないため、有識者の選定や会合の運営方法などが不明確であり、公平性、公正性及び透明性に疑義が生じる可能性があると考えられるが、原子力規制委員会の見解を伺いたい。

### 菅直人君（民主）

- ・原子力事業者は地域防災計画の策定、地域住民の避難についてどのような法的責任があるか、東京電力の認

識を伺いたい。

- ・原発の再稼働に当たっては、原子力規制委員会が安全性を確認することに加えて、地域防災計画の策定が必要であると考えますが、原子力規制委員会の認識を伺いたい。
- ・原発から 30 km 圏内の自治体において地域防災計画が策定されていない場合、原子力事業者は再稼働の判断ができないという理解でよいか、東京電力の認識を伺いたい。

### 椎名 毅君（維新）

- ・原子力総合防災訓練では、最も過酷な事故想定に基づき訓練を行う必要があると考えるが、11 月 2 日に北陸電力志賀原発で行われた訓練では、どのような想定を行ったのか。
- ・米国の原発では、避難訓練等も定期的に政府機関の評価の対象となっており、我が国においても防災訓練を原子力規制の中に位置づけ、審査を行う必要があると考えるが、田中委員長の見解を伺いたい。
- ・原発の再稼働に当たり、自治体等の同意プロセスや同意対象について明確に定めないのは問題であり、法的手続の中に定める必要があると考えるが政府の見解を伺いたい。

### 今村洋史君（次世代）

- ・エネルギー基本計画の策定を受け、我が国のエネルギー安全保障上、必要な原発の基数や発電量はどの程度と考えているのか、資源エネルギー庁に伺いたい。
- ・九州電力川内原子力発電所の再稼働に係る 11 月 3 日の宮沢経済産業大臣と伊藤鹿児島県知事との会談において、両者の発言した「国が責任を持つ」旨の「責任」の言葉のニュアンスが異なると感じたが、この点について資源エネルギー庁の見解を伺いたい。

## **柏 倉 祐 司君 (みんな)**

- ・宮城県議会の最大会派である自由民主党・県民会議から指定廃棄物の最終処分を福島県で行う旨の要請が出されているが、放射性物質汚染対処特措法の見直しも含めて環境省はどのように考えているのか見解を伺いたい。
- ・現在、福島第一原発で汚染水対策として建設が進められている凍土遮水壁は、規模が非常に大きいものであるが、凍土造成量に問題はないのか経済産業省に伺いたい。併せて凍土遮水壁の事業期間、維持に係る必要電力量についても伺いたい。

## **笠 井 亮君 (共産)**

- ・10月30日の衆議院予算委員会で、安倍内閣総理大臣に対し、九州電力策定の保安規定に記載されている近隣火山の噴火対応策に係る噴火予知の科学的知見の適格性についての見解を質問した際、田中委員長が答弁した理由を伺いたい。併せて、この対応が適切であったのか田中委員長の考えを伺いたい。
- ・鹿児島県議会で9月30日に行われた原子力安全対策等特別委員会で、九州電力発電本部原子力管理部長が、破局的噴火の兆候について「数十年のオーダーでわかる」と発言したが、この認識の科学的な適格性について、田中委員長の見解を伺いたい。

## **青 木 愛君 (生活)**

- ・使用済核燃料の中間貯蔵施設の建設等について、どのような具体的見通しの下で原発の再稼働を検討しているのか、資源エネルギー庁に伺いたい。
- ・運転期間の延長の申請がなされない原発は廃炉となるのか、また、延長申請がなされた場合の審査に要する期間及び判断基準について原子力規制庁に伺いたい。